

平成28年度 事業報告

平成28年度は、我が国を取り巻く環境が急激に変化した1年であった感があります。米国において新政権が発足しTPPを始め時間をかけて進めてきたものが一夜にして変わっていく世界情勢や、近隣の安全情勢の変化と貿易・外交環境の変化など、今までより柔軟にかつスピード感を持って適切な対処を求められる時代に突入しました。

国内においては、国の切れ目のない対策により国民経済が、好況な企業業績に代表されるように一定回復傾向にあります。世界一と言われる国の借金は未だに増加していることも現実です。

当市においては、高い有効求人倍率に示されるように上向く景気により企業の人手不足感が増してきた中、我々シルバーに対する期待感がさらに膨らんだ1年でありました。

このことは、当シルバーの派遣事業実績において、国が進める生涯現役社会の構築の下、シルバーの新たな役割である「現役世代の下支え」や「企業などの人手不足の解消」の担い手に呼応するように、会員の皆様の理解により対前年度比33.6%増の1,390万円となりました。

一方、当シルバー事業の大宗をなす請負・委任事業の実績は、対前年度比6.1%減の4億146万円となりました。

しかし、昨年4月から皆様の理解と協力により取り組み始めましたシルバー改革が効を奏し、かつ効率的な予算の執行に努めた結果、今年度も1,192万円の黒字を計上することが出来ました。

今年度は、新規事業として「空き家・お墓の管理」と「寺子屋塾」をスタートさせました。この2事業は地域のニーズに即して今後とも拡大発展させていく必要があると考えていますのでご協力をお願いします。

次に、国・全シ協から示された「適正ガイドライン」により、会員・役職員そしてお客様に対してシルバー事業の理解と啓発への取組みに着手しました。

また、シルバー法制化30周年記念として、多くの会員皆様の参加を得て昨年10月「ねんりんピック会場周辺の清掃ボランティア活動」を実施しました。

このように、従前からのシルバー事業にきちんと取り組みながら、地域と共に歩み、時代と取り巻く環境の変化に即応するシルバーを目指してまいりますので、会員、役員そして職員皆様のご理解とご協力をお願いします。

項目 \ 年度	① 27年度	② 28年度	② - ① 前年度比
会員数 (人)	1,145	1,065	△ 80
受注延件数 (件)	7,208	6,736	△ 472
契約金額 (円)	427,565,405	401,460,069	△26,105,336
就業実人員 (人)	922	836	△ 86
就業延人員 (人 日)	97,854	87,108	△ 10,746
就業率 (%)	80.5	78.5	△ 2.0
単年度収支 (円)	14,401,365	11,922,536	△2,478,829

※ 「受注延件数」から「就業率」までの各項目は、請負・委任についてを記載

平成28年度に取り組んだ主な事項

1 就業機会の拡大

(1) 職員による就業開拓

- ①定期的な企業訪問による就業開拓を実施しました。
- ②一般家庭訪問及びポスティングに努めました。

(2) 地域や企業のニーズの把握

- ①企業発注者アンケートによる意見等の聴取を実施しました。

(3) 全会員へ就業開拓取り組みの検討

理事会で「会員1人1仕事紹介運動（仮称）」の検討を行いました。

(4) 全会員へのアンケートの実施

就業希望と発注者とのミスマッチの減少を目指して、引き続き会員アンケートを実施しました。

2 会員の拡大とスキルの向上

(1) 新規会員の加入促進

- ①ハローワーク佐世保での定期的な出張シルバー相談会を開始しました。
- ②理事による入会説明会を継続的に実施しました。
入会説明会70回開催、参加者293人、入会者76人
- ③会員による就業時の隣近所への声掛けなど、PRを兼ねた加入促進を行いました。

(2) 普及啓発活動の推進

- ①職員の活動時に合わせてシルバーのPRと会員拡大に努めました。
- ②シルバー法制化30周年記念及び普及啓発月間の10月に合わせ、「ねんりんピック会場周辺の清掃」を始めとしたボランティア活動の展開を通してシルバー事業の普及啓発に努めました。
- ③佐世保市の広報誌「広報させぼ10月号」にシルバー事業に関する記事を掲載しました。

(3) 会員研修

国・全シ協の指導に基づく「適正ガイドライン」を使用し、全会員・役職員を対象として数次にわたる研修を実施しました。

3 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の推進

- ①安全衛生委員会による就業現場への計13回の巡回指導
- ②各種研修会・講習会その他会議時における安全講話の実施

③安全だよりの発行（4回）による安全情報の提供と周知

(2) 適正就業の推進と公平な就業機会の提供

請負・委任・派遣などの実態を把握し適正就業の推進に努めました。
また、未就業リストの活用による公平な就業機会の提供も行いました。

4 事業運営の効率化及び財政基盤の安定

(1) シルバー改革の着手

昨年4月からのシルバー改革は、会員皆様のご理解とご協力により順調にスタートすることが出来ました。このことに改めて感謝申し上げます。今後も、スクラップアンドビルドの考えを通して改革を行い、時代に即したシルバーの構築を目指してまいります。

(2) 経費節減の徹底と事務効率化の推進

①シルバー改革に基づく、公用車の適正配置等により6台の減車を行いました。

②同じくシルバー改革に基づき、北部出張所事務局は2名体制へ移行しました。

(3) 財政基盤の安定

①キャッシュフロー会計における安定を目指し「一時資金借入れを行わない」という目標に向け、収入の確保ときめ細かな支出の管理に努めた結果、長年継続してきた一時資金借入は昨年2月から脱却することが出来ました。また、昨年度に引き続き同等の正味財産の増加を見ることが出来ました。

②シルバー改革の一つである職員体制の強化は、意識改革の面において、職員間の意思疎通と情報の共有を図りながら、常に費用対効果の意識醸成を行うなど経営の視点を持って業務遂行に努めました。

5 地域社会のニーズ取組み強化

(1) ワンコインサービス事業の継続

シルバー事業のPRを兼ね、地域ニーズに沿ったきめ細やかなサービスを目指して当事業を継続しましたが、町内会組織等へのPR活動不足により実績を伸ばすことが出来ませんでした。

シルバーが取組むべき本来事業として今後改善してまいります。

(2) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」展開

国（厚労省）が進める保育・育児分野へのシルバー展開に即した会員の技能や知識の向上を期するため、各種講習会を実施しました。

(3) 新規2事業「地域就業機会創出・拡大事業」の展開

①子育て世代への応援事業として「シルバー平成寺子屋塾事業」をスター

トし、所謂ホワイトカラー会員のチャレンジの場づくりにも努めました。

②地域社会の維持発展につながる事業として「シルバー空き家管理等ワンパ
ックサービス事業」をスタートし、従来の市内完結型の事業から市外在住
者の要望に応えるための事業として展開するため、東京・大阪などの地元
出身者の団体へ協力要請を行い、PRの強化に努めました。

また、当事業は全国のシルバーでも取り組む事例が増加していることから、
相互の紹介を行っていくシステムづくりが出来ないか、関係者への働きか
けを行いました。

6 会員による自主的運営体制の確立

- (1) 理事会を中心に各種専門部会・委員会などにおいて、会員・役員による活
発な議論・協議を行いながら、問題意識と改革意識を持って自主的運営を
行うよう心掛けました。
- (2) 剪定・除草の技能向上と後継者育成をめざし、会員講師による春・秋の講
習会を実施しました。
- (3) 地域別ブロック研修会の一部合同開催など地域を超えた会員間の連携も
図りました。

7 長崎県シルバー人材センター連合会等との連携

近年増加傾向にある派遣事業の展開における諸課題の共有と解決策の検
討など、日頃から県シ連との連携を積極的に図るとともに、県内のシルバー
間でも現場の拠点シルバーとしての問題意識の共有と解決策を模索するな
ど密な連携に努めました。